

生活支援コーディネーター発行

# 地域の支え合い通信

麻生、篠路茨戸、太平百合が原、拓北・あいの里

地区版



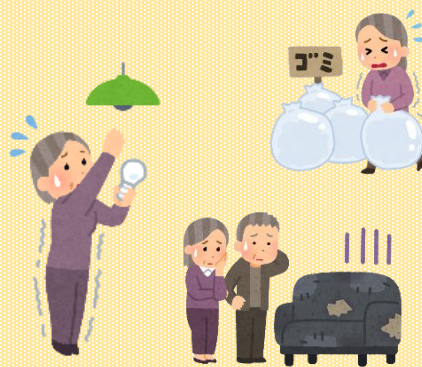
2022年



第20号

## 社会参加で介護予防 はじめませんか？

年を重ねていくと、今までできていたことが難しくなることがあります。例えば、重たい荷物を運ぶ、高い所の物を取るなどです。高齢者がこれからも、いま住んでいる地域に住み続けたいけれど、そういったちょっとした困り事があるばかりに、あきらめなくてはならない……。そのようなことが無いように、支え合いのある地域づくりを「生活支援体制整備事業」は、目指しています。



この事業で、大切なポイントがあります。それは、元気な高齢者は、困りごとのある方のお手伝いをする側にまわりませんか？ということ。ボランティア活動などは、自身の生きがいにつながる事が多く、結果的に閉じこもり防止や介護予防につながると言われています。なにより、高齢者には今まで培ってこられたすばらしい知識・経験・技術があります。それらを活かした活動が、誰かの助けになります。

そして、その活動の先に、自分も含めた誰もが安心できる「支え合い」の暮らしがあります。関心のある方は、お気軽に、生活支援コーディネーターまでお問い合わせください。事業や活動についてご説明させていただきます。

### ●生活支援体制整備事業（介護保険制度に基づいた札幌市の事業）

医療や介護サービスだけでは解決しづらい暮らしの困りごとに対応する「生活支援」を、地域住民を始め、民間企業やNPO、ボランティア、社会福祉法人、協同組合などの多様な団体が協力し合い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、みんなで支え合う地域づくりをめざしています。その推進役として生活支援コーディネーターが配置されています。

# 生活支援コーディネーターの活動から

生活の中でお手伝いが必要になった時に、相談できる環境があると安心できます。そのために活動をされているグループの様子をお伝えします。



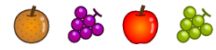
## サポートたいゆり



太平百合が原地区社会福祉協議会のボランティア組織「サポートたいゆり」は毎週水曜日に相談窓口を設けています。これまで福祉関係機関の依頼を受けて活動につながるが多かったのですが、6月、8月とご本人からの依頼を受け、お掃除や除草の活動が行われました。コーディネーターが6月に訪問した際に、ご本人から依頼の電話が来ており、担当者がゆっくり丁寧に話をされている場面に立ち会うことができました。



## 篠路チョコットお助けたい



令和4年7月12日(火)、「篠路チョコットお助けたい」打ち合わせ会に出席させていただきました。4～6月は、畑や庭仕事の依頼が多かったと報告がありました。また、同じ依頼者へお手伝いを重ねていくうちに、新たなニーズを発見することがあり、支援項目の拡大についても検討をされていました。メンバーのお話を通して、お手伝いを受けた依頼者が、日々の生活で豊かな時間を過ごされる様子が伝わってきました。



「地域にこんな便利なサービスがあるよ」などの情報がありましたらお知らせください



【お問い合わせ先】  
札幌市北区社会福祉協議会  
札幌市北区北24条西6丁目北区役所 1階 ☎757-2482  
担当)生活支援コーディネーター 村井田